

令和2年度 学校関係者評価書（総括）

鹿児島市立皇徳寺小学校

1 学校教育目標・経営の基本方針

元気に登校し、力を合わせて楽しく学び続ける子供を育てる
(校訓) かしく やさしく たくましく

「確かな学力を身に付ける学びいっぱいの学皇小」 「美しく清潔で花いっぱいの皇小」
「あいさつ・笑顔・歌・思いやりのある皇小」 「家庭・地域と連携いっぱいの皇小」

2 本校の課題

- 自ら課題に取り組む自己学習力を身に付けた子供の育成を図る必要がある。
- 豊かな心を持ち、基本的な生活習慣を身に付けた子供の育成を図る必要がある。
- たくましく生き抜くための体力・気力のある子どもを育成する必要がある。

3 校内研究テーマ

『主体的で対話的な深い学び』の実現に向けた授業の創造
～各教科部での実践を通して～

4 自己評価

評定：4（達成している）、3（おおむね達成している）、2（あまり達成されていない）、1（達成されていない）

領域	評価項目	評価	学校の課題解決・目標達成のための具体策	所見（御意見）
学 校 運 営	1 グランドデザインに学校教育目標や学校経営方針が反映され、日々の教育活動を保護者・地域に分かりやすく伝えている。	3.71	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校だよりや学級通信を通し教育活動内容を紹介したり、投稿等により報道機関を活用した情報発信を行ったりする。 ○ 情報教育担当者を中心にホームページのリニューアルと定期的更新に努める。 ○ 定期的な施設・設備の点検を行い、迅速な修繕、補修要望を申請する。 ○ 担任・養護教諭等との連携を密にし、情報を速やかに収集整理し、いじめ・不登校の未然防止に努める。また、問題が発生した場合は、生徒指導委員会を開催し、全校態勢で取り組む。 ○ スクールゾーン委員会の活性化を図り、児童通学保護員等との連携を密にする。 ○ 特別な配慮の必要な児童の共通理解と研修を通じた対応の仕方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安心メールで不審者情報を共有できる点があります。 ○ コロナ禍にあって先生方の努力がよく分かります。制限等がある中で活発な活動がされているようで感心しています。とはいえ、このような状況の時こそコミュニケーションが一層大切ですね。終息まで見通しが難しいですが互いに頑張りましょう。 ○ 今年度はコロナ感染症の対応で様々なイベントが中止や縮小され対応に苦慮されたことと思います。情報発信を紙面だけでなく、SNSやホームページをより活用し、地域と学校双方向の情報共有ができればと思います。ケーブルテレビの活用も。
	2 学校行事の時期や内容は適切である。	3.5		
	3 美化に努め、環境整備が行き届いており定期的な安全点検の結果が活かされている。	3.28		
	4 いじめや不登校問題等へ全職員が一丸となって適切に対応できる体制が整っている。	3.28		
	5 危機管理マニュアルを作成し、不審者対策、登下校の安全指導、校内での事故、食物アレルギー等への対応が適切に行われるような体制が整っている。	3.42		
確 かな 学 力	6 標準的学力検査、鹿児島学習定着度調査（5年）、全国学力学習状況調査（6年）等の分析と活用、結果の積み上げと適切な開示がなされている。	3.28	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの蓄積と経年比較を行い、皇徳寺小児童の学力の推移を押さえる。 ○ ICT機器活用研修会を位置付ける。 ○ 言語活動の充実を図る授業改善に努める（授業山場での児童による練り合い学習等）。 ○ テーマに沿った一人一研究授業及び講師招聘による授業研究を通し、全職員の授業力向上を図る。 	<p>【学校運営続き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍の中で新たな試みや今までやり方を変えなければならぬ状況が多々あったことと思います。家庭状況もコロナで変化があった年。変わらず受け止め守る学校という大きな器の中で安心して学べるようにお見受けしました。まだまだ闇の中。危機管理体
	7 ICT機器の活用、習熟度別の授業、学校支援ボランティア等の活用により、分かる授業づくりに努めている。	3.17		

領域	評価項目	評価	学校の課題解決・目標達成のための具体策	所見（御意見）
確かな学力	8 基本的な学習習慣定着のため、全職員が「学習の約束事」「家庭学習の手引き」を意識した取組を行っている。	3.57	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の約束事」の周知徹底と学年の発達段階に添った指導の徹底を図る。 ○ 家庭学習目標時間の設定と量と質の充実を図る（目安時間：10分×学年+20分）ため「家庭学習の手引き」の活用を図る。 ○ UDの授業、習熟度別指導（4～6年：算数）と個別指導（全学年）の充実を図る。 ○ 「朝の読書タイム」（しいのき文庫、職員の読み聞かせ等）の充実や図書室整備による読書意欲の向上を図る。 	を充実させてあらゆる問題に対ししっかりと受け止める姿勢が求められていると思います。地域との連携を密にしてこの状況を乗り切る力をつけて欲しいです。
	9 一人ひとりの児童のニーズに応えるための具体的な手立てが図られている（UDの授業）。	3.5		【確かな学力】 ○ 家庭での読書タイムを充実するとよいと思う。（保健委員会からの歯磨きの親子で実施の推進と同じように）
	10 子どもたちが読書に親しむことができる手立て、環境が整えられている。	3.57		
心の教育の充実	11 基本的生活習慣の定着に向けて全職員の共通理解・共通実践が図られている。	3.71	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員で重点指導事項「語先後礼のあいさつ」、「静かな廊下歩行」等を意識した指導を積み重ね、他の生活習慣へも広げる。 ○ ちょボラ、清掃時間、施設との交流等を通し、気づき・考え・実行する奉仕の精神・思いやり・慈しみの心を育む。 ○ 「迅速・丁寧・現場に行く」を基本理念にアンテナを高くし、家庭・地域・関係機関との良好な関係づくりに努める。（情報の共有） ○ 「学校版ISO」を積極的に推進し、マイ箸の持参、リサイクル活動の活性化、節電・節水等への意識喚起を図る。 ○ 県民週間や授業参観日に各学級において、年1回「道徳の時間」の授業参観を実施し、いじめや人権について考える場を設定する。 	【確かな学力続き】 ○ コロナ元年今年の（2020年度）は、想いがあっても伝えられないことの多い一年でした。学習・宿題など思うようにいかない場面、今後また子どもたちにチャレンジの機会を与えて欲しいものです。 しいの木文庫も何らかの形でお手伝いできるとうれしいです。
	12 福祉・ボランティア活動、ふれあい活動の充実により豊かな心を育む工夫がなされている。	3.33		【心の教育】 ○ お年寄りと昔遊びをしていますが、敬老週間にお年寄りと給食会をしてふれあいの場をもつのはどうでしょうか。（アフターコロナで） ○ 語先後礼元気よくもっともっと充実させて欲しい。学校全体としての明
	13 家庭や地域、関係機関等との連携が密になされ、心に届く生徒指導が実践されている。	3.33		
	14 環境に目を向けた具体的な取組がなされている。	3.33		
	15 道徳教育の充実が図られている。	3.33		
たくましい体力・気力づくり	16 保健的生活習慣（姿勢改善やメディアとの付き合い方の意識）の定着が図られている。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ PTA保体部、三校PTA、保幼小中等と連携を密にし、共通実践事項、アプローチ・スタートカリキュラムを意識した具体的な実践に努める。 ○ 課題意識を持った学校保健委員会の実施。 ○ 運動能力テストの結果を踏まえた授業はじめの「ちょトレ」や「一校一運動（なわとび運動）」、「歩育（徒歩登校）」の推進 ○ う歯治療率アップと歯磨きの習慣化、疾病予防を目標に積極的な啓発に努める。 ○ 畑やプランターでの栽培活動の充実。外部講師を招聘した食育の展開 ○ コミュニティ協議会・あいご会・社協等の行事等への相互理解、協力体制整備 	るさ元気も感じられてよくなる可能性大かと思います。コロナで元気も沈みがち。学校に来れる幸せを共有できる空間作りをお願いします。
	17 体育・運動能力の向上とともに、運動の生活化が図られる手立てがとられている。	3.5		【たくましい】 ○ PTA執行部・先生方大変ご苦労様でした。PTAでの学校・親共同の活動は、子どもたちへの有効な働きかけとなったり、連携強化がよりよい子育ての力となります。つながることの大切さ、親への働きかけをあきらめずこつこつ続けていただきますようお願いいたします。
	18 家庭や関係機関と連携し、疾病予防、う歯治療促進の手立てがとられている。	3.17		
	19 生活科や総合、学活等を通し、望ましい食習慣や食育の充実が図られている。	3.17		
	20 地域行事やあいご行事に進んで参加している。	2.83		